

生物資源科学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

理 科			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単位	
物 理 学	○物 理 学 概 論	2	
	生 態 環 境 物 理 学	2	
化 学	○化 学 概 論	2	
	化 学 I	2	
	化 学 II	2	
	土 壤 及 び 作 物 栄 養 学 概 論	2	
	機 器 分 析 化 学	2	
	物 理 化 学	2	
	有 機 化 学 I	2	
	○生 物 学 概 論	2	
生 物 学	動 物 生 態 学 概 論	2	
	環 境 昆 虫 学 概 論	2	
	植 物 遺 伝 資 源 学	2	
	植 物 感 染 生 理 学	2	
	昆 虫 体 系 学	2	
	応 用 分 子 昆 虫 学	2	
	植 物 分 類 ・ 生 態 学	2	
	基 礎 遺 伝 学	2	
	生 物 化 学 I	2	
	樹 木 学	2	
	地 学	○地 学 概 論	2
土 壤 物 理 学		2	
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	自然科学実験（物理）	1	
	自然科学実験（化学）	1	
	生物・化学実験Ⅰ	2	
	自然科学実験（生物）	1	
	生物・化学実験Ⅱ	2	
	自然科学実験（地球惑星科学）	1	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（理科Ⅰ）	2	
	○教科教育法（理科Ⅱ）	2	
	教科教育法（理科Ⅲ）	2	
	教科教育法（理科Ⅳ）	2	

農 業				
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単位		
農 業 の 関 係 科 目	※作 物 学 概 論	2		
	園 芸 学 概 論	2		
	植 物 病 原 学	2		
	造 園 学 概 論	2		
	植 物 病 害 防 除 学	2		
	農 場 実 習	2		
	生 物 資 源 科 学 演 習 Ⅰ	1		
	生 物 資 源 科 学 演 習 Ⅱ	1		
	生 物 資 源 科 学 演 習 Ⅲ	1		
	生 物 資 源 科 学 演 習 Ⅳ	1		
	植 物 育 種 学 Ⅰ	2		
	植 物 育 種 学 Ⅱ	2		
	植 物 寄 生 病 学	2		
	植 物 ウィルス 病 学	2		
	生 物 多 様 性 学	2		
	天 然 物 化 学	2		
	食 用 作 物 学 Ⅰ	2		
	食 用 作 物 学 Ⅱ	2		
	果 樹 園 芸 学	2		
	蔬 菜 園 芸 学	2		
	花 卉 園 芸 学	2		
	造 園 設 計 ・ 計 画 論	2		
	公 共 緑 地 学	2		
	工 芸 作 物 学	2		
	飼 料 作 物 学	2		
	砂 防 学	2		
	森 林 保 護 学	2		
	森 林 美 学 及 び 更 新 論	2		
	農 業 気 象 学	2		
	測 量 学	2		
	野 生 動 物 管 理 学	2		
	※基 礎 分 子 生 物 学	2		
	※食 品 栄 養 化 学 概 論	2		
	※森 林 政 策 学	2		
	※畜 産 基 礎 科 学 Ⅱ	2		
	※農 業 土 木 学 概 論	2		
	※農 業 政 策 学	2		
	職 業 指 導	○職 業 指 導	1	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（農業Ⅰ）	2	
		○教科教育法（農業Ⅱ）	2	

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数（24単位）を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 4 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 5 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 6 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 7 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 8 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

応用生命科学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

理 科			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位	
教科に関する専門的事項	物 理 学	○物 理 学 概 論	2
	化 学	○化 学 概 論	2
		実 験 計 画 法	2
		機 器 分 析 化 学	2
		生 態 化 学	2
		有 機 化 学 I	2
		有 機 化 学 II	2
		土 壌 及 び 作 物 栄 養 学 概 論	2
	物 理 化 学	2	
	栄 養 化 学 I	2	
	生 物 学	○生 物 学 概 論	2
		生 物 学 I	2
		生 物 学 II	2
		応 用 生 命 科 学 概 論	4
基 礎 遺 伝 学		2	
基 礎 微 生 物 学		2	
応 用 分 子 昆 虫 学		2	
生 物 化 学 I		2	
生 物 化 学 II		2	
生 物 化 学 III		2	
環 境 昆 虫 学 概 論	2		
動 物 生 態 学 概 論	2		
植 物 遺 伝 資 源 学	2		
植 物 分 類 ・ 生 態 学	2		
分 子 細 胞 生 物 学	2		
地 学	○地 学 概 論	2	
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	自 然 科 学 実 験 (物 理)	1	
	自 然 科 学 実 験 (化 学)	1	
	化 学 実 験	2	
	自 然 科 学 実 験 (生 物)	1	
	生 物 学 実 験	2	
自 然 科 学 実 験 (地 球 惑 星 科 学)	1		
各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)	○ 教 科 教 育 法 (理 科 I)	2	
	○ 教 科 教 育 法 (理 科 II)	2	
	教 科 教 育 法 (理 科 III)	2	
	教 科 教 育 法 (理 科 IV)	2	

農 業			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位	
教科に関する専門的事項	農業の関係科目	遺 伝 子 制 御 学	2
		植 物 育 種 学 I	2
		植 物 育 種 学 II	2
		※ 基 礎 分 子 生 物 学	2
		分 子 生 物 学	2
		分 子 酵 素 学	2
		植 物 病 原 学	2
		※ 作 物 学 概 論	2
		昆 虫 病 理 学	2
		植 物 ウィルス 病 学	2
		生 物 有 機 化 学	2
		生 殖 生 物 学	2
		応 用 菌 学	2
		天 然 物 化 学	2
		細 胞 工 学	2
		蛋 白 質 工 学	2
		食 品 機 能 化 学 I	2
		※ 食 品 栄 養 化 学 概 論	2
		※ 森 林 政 策 学	2
	※ 畜 産 基 礎 科 学 II	2	
※ 農 業 土 木 学 概 論	2		
※ 農 業 政 策 学	2		
職 業 指 導	○ 職 業 指 導	1	
各 教 科 の 指 導 法 (情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む。)	○ 教 科 教 育 法 (農 業 I)	2	
	○ 教 科 教 育 法 (農 業 II)	2	

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 4 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 5 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 6 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 7 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 8 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

生物機能化学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

理 科			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位	
物 理 学	○物 理 学 概 論	2	
	物 理 学 I	2	
	物 理 学 II	2	
化 学	○化 学 概 論	2	
	土壌及び作物栄養学概論	2	
	有 機 化 学 I	2	
	有 機 化 学 II	2	
	物 理 化 学	2	
	栄 養 化 学 I	2	
	実 験 計 画 法	2	
	機 器 分 析 化 学	2	
	微 生 物 化 学	2	
	栄 養 化 学 II	2	
	木質バイオマス変換化学	2	
生 物 学	○生 物 学 概 論	2	
	生 物 化 学 I	2	
	生 物 化 学 II	2	
	生 物 化 学 III	2	
	分 子 細 胞 生 物 学	2	
	基 礎 微 生 物 学	2	
	環 境 昆 虫 学 概 論	2	
	植 物 遺 伝 資 源 学	2	
	基 礎 遺 伝 学	2	
地 学	○地 学 概 論	2	
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	自然科学実験(物理)	1	
	自然科学実験(化学)	1	
	化 学 実 験 I	1	
	化 学 実 験 II	1	
	自然科学実験(生物)	1	
	生 物 学 実 験 I	1	
	生 物 学 実 験 II	1	
	自然科学実験(地球惑星科学)	1	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(理科Ⅰ)	2	
	○教科教育法(理科Ⅱ)	2	
	教科教育法(理科Ⅲ)	2	
	教科教育法(理科Ⅳ)	2	

農 業			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位	
農 業 の 関 係 科 目	農 産 物 利 用 学	2	
	応 用 菌 学	2	
	生 物 有 機 化 学	2	
	生 物 機 能 化 学 演 習 I	1	
	生 物 機 能 化 学 演 習 II	1	
	生 物 機 能 化 学 演 習 III	1	
	生 物 機 能 化 学 演 習 IV	1	
	生 物 機 能 化 学 演 習 V	1	
	植 物 栄 養 学	2	
	※基礎分子生物学	2	
	分 子 酵 素 学	2	
	肥 料 学	2	
	※食品栄養化学概論	2	
	食 品 機 能 化 学 I	2	
	食 品 機 能 化 学 II	2	
	※作物学概論	2	
	植 物 病 原 学	2	
	土 壌 学 I	2	
	土 壌 学 II	2	
	植 物 育 種 学 I	2	
	遺 伝 子 制 御 学	2	
	造 林 学	2	
	農 業 経 営 学	2	
	基礎家畜生産学Ⅳ	2	
	農 業 気 象 学	2	
	基礎畜産物利用学Ⅰ	2	
	酪農生産物利用学	2	
昆 虫 病 理 学	2		
※森林政策学	2		
※畜産基礎科学Ⅱ	2		
※農業土木学概論	2		
※農業政策学	2		
職 業 指 導	○職 業 指 導	1	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(農業Ⅰ)	2	
	○教科教育法(農業Ⅱ)	2	

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 4 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 5 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 6 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 7 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 8 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

森林科学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

		理 科	
教科に関する専門的事項の科目区分	授業科目	単位	
教科に関する専門的事項	物 理 学	○物理学概論	2
		構造力学Ⅰ	2
		構造力学Ⅱ	2
		構造力学演習Ⅰ	1
		構造力学演習Ⅱ	1
	化 学	○化学概論	2
		化学Ⅰ	2
		化学Ⅱ	2
		木材化学	2
		木質バイオマス変換化学	2
		機器分析化学	2
		有機化学Ⅰ	2
		有機化学Ⅱ	2
		物理化学	2
	実験計画法	2	
土壌及び作物栄養学概論	2		
生 物 学	○生物学概論	2	
	生物化学Ⅰ	2	
	生物化学Ⅱ	2	
	基礎微生物学	2	
	樹木生理学	2	
樹木学	2		
地 学	○地学概論	2	
	土壌物理学	2	
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	自然科学実験(物理)	1	
	自然科学実験(化学)	1	
	木材化学実験	1	
	自然科学実験(生物)	1	
	木材理学実験	1	
	造林学実習	2	
	自然科学実験(地球惑星科学)	1	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(理科Ⅰ)	2	
	○教科教育法(理科Ⅱ)	2	
	教科教育法(理科Ⅲ)	2	
	教科教育法(理科Ⅳ)	2	

		農 業	
教科に関する専門的事項の科目区分	授業科目	単位	
教科に関する専門的事項	農業の関係科目	生態系管理学	2
		※森林政策学	2
		森林空間機能学	2
		造林学	2
		砂防学	2
		森林測量学	4
		流域保全論	2
		森林社会学	2
		森林計画学	2
		環境資源経済学	2
		きのこ学	2
		森林保護学	2
		森林美学及び更新論	2
		木質材料学	2
		野生動物管理学	2
		パルプ・製紙学	2
		生物多様性学	2
		※作物学概論	2
		※基礎分子生物学	2
	※食品栄養化学概論	2	
※畜産基礎科学Ⅱ	2		
※農業土壌学概論	2		
※農業政策学	2		
職業指導	○職業指導	1	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(農業Ⅰ)	2	
	○教科教育法(農業Ⅱ)	2	

- 備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
- 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 - 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 - 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 - 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 - 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 - 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位としないので注意すること。
 - 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

畜産科学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

理 科			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位	
教科に関する専門的事項	物 理 学	○物 理 学 概 論	2
	化 学	○化 学 概 論	2
		畜産基礎科学Ⅰ	2
		土壌及び作物栄養学概論	2
		栄 養 化 学 Ⅱ	2
		機 器 分 析 化 学	2
		実 験 計 画 法	2
	生 物 学	○生 物 学 概 論	2
		生 物 学 Ⅰ	2
		生 物 学 Ⅱ	2
		基 礎 遺 伝 学	2
		基 礎 微 生 物 学	2
		動 物 生 態 学 概 論	2
分 子 細 胞 生 物 学	2		
地 学	○地 学 概 論	2	
「物理学実験（コンピュータ活用を含む）、化学実験（コンピュータ活用を含む）、生物学実験（コンピュータ活用を含む）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	自然科学実験（物理）	1	
	自然科学実験（化学）	1	
	畜産基礎実験Ⅰ	1	
	自然科学実験（生物）	1	
	応用食品科学実験	1	
自然科学実験（地球惑星科学）	1		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（理科Ⅰ）	2	
	○教科教育法（理科Ⅱ）	2	
	教科教育法（理科Ⅲ）	2	
	教科教育法（理科Ⅳ）	2	

農 業		
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単 位
教科に関する専門的事項 農業の関係科目	※畜産基礎科学Ⅱ	2
	細胞組織生物学	2
	畜牧体系科学	2
	基礎畜産物利用学Ⅰ	2
	基礎畜産物利用学Ⅱ	2
	分子細胞生物学	2
	動物機能栄養科学	2
	家畜繁殖学	2
	家畜遺伝育種学	2
	※食品栄養化学概論	2
	環境分子生物学	2
	家畜疾病学	1
	畜産食品衛生学	2
	動物機能栄養科学実験	1
	畜牧体系科学実験	1
	畜産基礎実験Ⅱ	1
	家畜生産実習	2
	牧 場 実 習	2
	遺伝繁殖科学実験	1
	家畜人工授精実習	1
	基礎家畜生産学Ⅱ	2
	基礎家畜生産学Ⅲ	2
	基礎家畜生産学Ⅳ	2
	家畜臨床繁殖学	1
	有機性廃棄物工学	2
	飼 料 作 物 学	2
	※基礎分子生物学	2
	生物多様性学	2
	環境計測学	2
	農業気象学	2
	※作物学概論	2
	※森林政策学	2
※農業土木学概論	2	
※農業政策学	2	
職業指導	○職 業 指 導	1
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（農業Ⅰ）	2
	○教科教育法（農業Ⅱ）	2

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数（24単位）を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

生物環境工学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

理 科			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単位	
教科に関する専門的事項	物 理 学	○物 理 学 概 論	2
		物 理 学 I	2
		物 理 学 II	2
		生 物 環 境 物 理 学	2
		材 料 力 学	2
		材 料 力 学 演 習	1
		土 質 力 学	2
		構 造 力 学	2
		電 気 工 学	2
		熱 力 学	2
	構 造 力 学 演 習	1	
	応 用 力 学	2	
	化 学	○化 学 概 論	2
土 壌 及 び 作 物 栄 養 学 概 論		2	
生 物 学	○生 物 学 概 論	2	
地 学	○地 学 概 論	2	
	土 壌 物 理 学	2	
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	自然科学実験（物理）	1	
	自然科学実験（化学）	1	
	自然科学実験（生物）	1	
	自然科学実験（地球惑星科学）	1	
	生物環境工学基礎実験	1	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（理科Ⅰ）	2	
	○教科教育法（理科Ⅱ）	2	
	教科教育法（理科Ⅲ）	2	
	教科教育法（理科Ⅳ）	2	

農 業			
教科に関する専門的事項の科目区分	授 業 科 目	単位	
教科に関する専門的事項	農業の関係科目	※農業土木学概論	2
		フィールド情報システム学	2
		※作物学概論	2
		農産物・食品加工工学Ⅰ	2
		農 作 業 学	2
		生 物 環 境 工 学 実 習	1
		水 文 学	2
		農 地 環 境 工 学	2
		農産物・食品加工工学Ⅱ	2
		農 業 機 械 学	2
		農 業 水 利 学	2
		水 理 学	2
		測 量 学	2
		生 物 環 境 工 学 実 験 Ⅰ	1
		生 物 環 境 工 学 実 験 Ⅱ	1
		生 物 環 境 工 学 実 験 Ⅲ	1
		生 物 環 境 工 学 実 験 Ⅳ	1
		機 械 設 計 製 図	1
		農 業 土 木 学 演 習	1
		農 業 経 営 学	2
		砂 防 学	2
		農 業 気 象 学	2
		※農業政策学	2
		有 機 性 廃 棄 物 工 学	2
		農 村 計 画 学	2
		環 境 計 測 学	2
		園 芸 学 概 論	2
		生 物 生 産 環 境 工 学	2
		フ ィ ー ル ド ロ ボ ッ ト 工 学	2
		測 量 学 実 習	1
		農 業 造 構 学	2
		※基礎分子生物学	2
		※食品栄養化学概論	2
		※森林政策学	2
		※畜産基礎科学Ⅱ	2
		職 業 指 導	○職 業 指 導
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教科教育法（農業Ⅰ）	2	
	○教科教育法（農業Ⅱ）	2	

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数（24単位）を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位としないので注意すること。
 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

農業経済学科
高等学校教諭一種免許状

免許教科

公 民				農 業					
	教科に関する 専門的事項の 科目区分	授 業 科 目	単 位		教科に関する 専門的事項の 科目区分	授 業 科 目	単 位		
教科に関する 専門的事項	「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	法 律 学 概 論	4	教科に関する 専門的事項	農業の関係科目	農 業 経 営 学	2		
		○ 政 治 学 概 論	4			※ 農 業 政 策 学	2		
		農 業 法	2			農 業 経 済 学 外 国 書 講 読	2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	ミクロ農業経済学	2			農 業 経 済 学 実 験 I	2		
		マクロ農業経済学	2			農 業 経 済 学 実 験 II	2		
		○ 共 生 社 会 経 済 学	2			農 業 経 済 学 実 験 III	2		
		環 境 政 策 学	2			農 場 実 習	2		
		開 発 経 済 学	2			農 業 技 術 移 転 論	2		
		協 同 組 合 学	2			農 業 経 営 管 理 論	2		
		応 用 計 量 経 済 学	2			農 業 経 営 政 策 論	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	農 産 物 貿 易 論	2	農 業 団 体 論	2					
	農 資 源 経 済 学 概 論	2	食 品 産 業 論	2					
	倫 理 学 概 論	2	食 料 経 済 学	2					
各教科の指導法 （情報機器及び教材 の活用を含む。）	○ 哲 学 概 論	2	農 業 経 済 学 特 別 講 義	2					
	○ 宗 教 学 概 論	2	農 業 経 済 学 概 論	2					
	○ 心 理 学 概 論	2	基 礎 家 畜 生 産 学 III	2					
		○ 教 科 教 育 法（社会・公民Ⅰ）	2	園 芸 学 概 論	2				
		○ 教 科 教 育 法（社会・公民Ⅱ）	2	環 境 資 源 経 済 学	2				
						環 境 計 測 学	2		
						※ 作 物 学 概 論	2		
						※ 基 礎 分 子 生 物 学	2		
						※ 食 品 栄 養 化 学 概 論	2		
						※ 森 林 政 策 学	2		
						※ 畜 産 基 礎 科 学 II	2		
						※ 農 業 土 木 学 概 論	2		
						職 業 指 導	1	○ 職 業 指 導	1
各教科の指導法 （情報機器及び教材 の活用を含む。）								○ 教 科 教 育 法（農業Ⅰ）	2
								○ 教 科 教 育 法（農業Ⅱ）	2

- 備考 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数（24単位）を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程における必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程における選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 法律学概論、政治学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

農業経済学科
中学校教諭一種免許状

免許教科

		社 会	
教科に関する 専門的事項の 科目区分	授 業 科 目	単 位	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日 本 史 学	2
		○東 洋 史 学 概 論	2
		○西 洋 史 学 概 論	2
		農 村 社 会 史	2
	地理学（地誌を含む。）	○人 文 地 理 学	2
		○自 然 地 理 学	2
		地 域 科 学 概 論	2
	「法律学、政治学」	○外 国 地 誌	2
		法 律 学 概 論	4
		○政 治 学 概 論	4
	「社会学、経済学」	農 業 法	2
		ミク ロ 農 業 経 済 学	2
		マク ロ 農 業 経 済 学	2
		○共 生 社 会 経 済 学	2
		環 境 政 策 学	2
		開 発 経 済 学	2
		協 同 組 合 学	2
		応 用 計 量 経 済 学	2
		農 産 物 貿 易 論	2
	農 資 源 経 済 学 概 論	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	倫 理 学 概 論	2	
	○哲 学 概 論	2	
	宗 教 学 概 論	2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(社会・地理歴史Ⅰ)	2	
	○教科教育法(社会・地理歴史Ⅱ)	2	
	○教科教育法(社会・公民Ⅰ)	2	
	○教科教育法(社会・公民Ⅱ)	2	

平成31年度入学者より

中学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、「大学が独自に設定する科目」として介護等体験実習(1単位)を修得する必要があります。

[介護等の体験について]

内 容： 介護等の体験とは、特別支援学校、養護老人ホームなどの社会福祉施設等で、障害者・高齢者に対する介護・介助・交流などの体験を行うことです。

対象者： 中学校の教育職員免許状を取得しようとする者が対象となります。ただし、介護等に関する専門的知識・技術を有すると認められる者、または身体上の障害により介護体験等を行うことが困難な者は、対象となりません。

期 間： 7日間以上の体験を行うことが必要です。

その他： 介護等の体験を行うための経費が必要となります。

※ 「介護等の体験」の実施時期・施設・必要経費などの詳細については、決定次第、教務・学生担当窓口からお知らせします。

- 備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から8単位を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(28単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。農学部では、上記の各表より32単位修得することを推奨する。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 5 法学概論、政治学概論、日本史学、東洋史学概論、西洋史学概論は卒業要件単位とならないので注意すること。